



編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話: 0277-76-2211
FAX: 0277-76-2836
Eメール: kouminkan
@city.midori.gunma.jp



▲賑わうエントランス（模擬店コーナー）!!

笠懸地域文化祭が10月
25・26日（土・日）の2日

間、笠懸公民館と笠懸野文

化ホールPALを開場に開

雨ニモマケズ 大盛況の文化祭

催されました。両日あいにくの雨模様でしたが、多くの来場者で賑わいました。

文化ホールは、渡良瀬特

別支援学校和太鼓部と和太鼓白楽による演奏からスタート。
2日間にわたり、舞踊やフラダンス、吹奏楽の演奏など、参加団体が日頃の練習の成果を披露し、観客から大きな拍手が送られていました。

公民館内では、各サークルの活動紹介や作品展示の他、革製品や七宝焼の即売、建造物群や鉄道ジオラマの展示などが行われました。事務室前では「戦後80年・平和の願い」と題した企画があり、来場者は平和への思いを書き込こんでいました。



▲鉄道模型とジオラマ展示

2階ロビーでは、ピンクリボンブレスレット作りや耳つぼ体験、カスタムボールペン、キーホルダー制作など、健康やモノづくりをテーマにした体験ブースが設けられ、家族連れに大人気でした。

26日の野外では、初めてとなるファルコンハンター（鷹匠）による実演があり、鷹の一種・ハリスホークが見事な技を披露しました。その他、手話や切り絵、囲碁・将棋、ドライフラワー体験など、多彩な催しが並び、公民館や地域で活動する多くのサークルや団体が文化祭を盛り上げています。

※2ページの写真もご覧ください。



▲大興奮!! ファルコンハンター



考え方 防犯対策



▲防犯の重要性を説く講師の黒津さん

高齢者大学第4講が10月21日㈫に笠懸野文化ホールで開催されました。演題は「防犯講座」で、講師は群馬県生活「こども部消費生活課・消費者支援・防犯係の黒津はるかさんでした。

冒頭、群馬県内の治安情勢にふれました。電話などの特殊詐欺（オレオレ詐欺やSNS型投資詐欺）が増えています。被害者は20～30代が約33%と最も多く、60～70代の25%を上

ります。ロマンス詐欺の被害も増加傾向。電話による詐欺被害防止のため、電話機に特殊詐欺電話対策装置を設置、または防犯機能付き電話機に交換することを推奨。+から始まる電話番号、末尾の110番には要注意。不審な電話がかかってきた時は一息ついて、慌てずに相手の名前と所属先を聞いて電話を切り、最寄りの警察署に連絡してくださいと呼びかけていました。

スマホ対策ではSNSのメッセージを友だちからしき届かないように設定することを勧めっていました。後半は、住宅侵入窃盗対策です。令和6年度の住宅侵入窃盗は490件で令和5年度より20%増加。主として空き巣で窓・玄関・勝手口などのガラス破りが多く、泥棒の嫌がる4つの侵入対策を紹介しました。

①目（人の目）、②光（センサーライト等の灯り）、③音（警報音）④時間（犯行に着手する日安5分）。これら4要素を組み合わせての防犯対策に効果があるそうです。

中でも、泥棒が一番嫌がるのが「人の目」です。防犯対策として地域住民による自主防犯活動に取り組むことが求められているようです。

ハザードマップ（洪水と土砂災害）で確認することができます。

どこにどのような災害リ

スクがあるのか、地域に残された災害の歴史を知り、将来に備えたいですね。

テーマは防災 市民講座スタート

市民講座第1講が、10月

16日㈭に笠懸公民館で開催されました。群馬大学共同教育学部の青山雅史さんを講師に「土地の履歴と自然災害を学ぼう」と題した講演でした。

日本列島、繰り返し発生する自然災害、過去の災害を知る事も重要であると、講師は話していました。

みどり市内にある過去の自然災害を伝える碑が3カ所紹介されました。東町の「遭難者菩提の碑」、笠懸町阿左美の「風害供養」、

笠懸公民館主催教室事業 ~ホントは○○シリーズ番外編~

ホントは楽しい音楽 「ピアノ調律なるほど体験会」

◇内容

調律を体験し、授業では教えてくれないピアノの原理を学びます♪

- ◇期日 令和8年1月24日(土) 午前10時～午前11時30分
- ◇会場 笠懸公民館 1階 音楽室1
- ◇対象 市内在住・在学の中学生・高校生
※参加生徒1人につき保護者1人の同伴可
- ◇講師 調律師 竹澤 孝さん
ピアニスト 伊舟城 歩生さん
- ◇定員 10人 (要申込・先着順)
- ◇参加無料



申込みはコチラから

申込URL: <https://logoform.jp/f/EhERI>

申込期間: 2025年12月12日(金)～2026年1月16日(金)



▲講師の青山さん

楽しいな どんぐり拾い

笠懸公民館で10月4日(土)ベビーキッズクラブのどんぐり拾いが行われました。どんぐりを入れてマラカスを作るため、ペットボトル工作からスタート。いろいろな色のビニールテープをはさみで切って、思い思いに飾り付けました。



できあがったペットボトルを持ってお楽しみのどんぐり拾いへ出発！公民館裏の木の下で、夢中になつてどんぐりを拾います。お友だちの入れ物にどんぐりを入れてあげる優しい姿も見られ、とても素敵なマラカスが完成しました。

秋を感じられる良い思い出になつたかな？

大掃除後に懇談会開催 深めよう絆

第8回笠懸公民館利用者の会理事会が10月15日㈫に笠懸公民館で開催されました。1週間後に迫った笠懸地域文化祭の参加に当たり各担当者を確認しました。12月14日㈰に開催される利用者懇談会についても意

見交換。事前にアンケートを取り、各サークルの悩み事や課題を出し合い、解決策を話し合ってはどうかなど、活発な意見が交わされました。また、今回初めて、大掃除の後に利用者懇談会をするになりました。



令和7年度 笠懸公民館 6月大掃除のアンケート結果（抜粋）

- Q. カーペット部分は掃除機があればよかったです。
- A. 掃除機は数が少ないので、ロビーに置いたものを順番に使っています。
- Q. 男性が多いと、できるところがふえたのかかもしれません。
- A. できる範囲で大丈夫です。もし、男性や若い人の手助けがほしい、という時には役員に声をかけてください。
- Q. 草木の根元にタバコのゴミが多く捨てられていた。除草必要
- A. 引き続きポイ捨ての注意喚起をしていきます。除草は定期的に行ってています。
- Q. ベランダのドアが開かなかつたので外が掃除できなかつた。スタッフさんから転落防止ではないかと指摘がありました。
- A. ご指摘のとおり、安全対策のため出られない部屋もあるようですので、できる範囲でお願いします。
- Q. 壁やふすまの修繕
- A. 緊急性の高いものから順番に修繕をしています。

【大会結果】※敬称略

- ▼男子シングルスA
優勝 黒澤 侑右 (Mico)
準優勝 坂西 一真 (Jutoku Jr)
3位 小久保大翔 (桐生商業)
3位 小森谷拓真 (前橋商業)
- ▼男子シングルスB
優勝 福田 悠希 (笠懸南中)
準優勝 大谷 晋 (笠懸南中顧問)
3位 山上 煌輝 (大間々東中)
3位 宮永慎一郎 (大間々東中顧問)
- ▼女子シングルスA
優勝 黒田 晴菜 (マエタク)
準優勝 黒田 紗来 (マエタク)
3位 大澤 里桜 (前橋商業)
- ▼女子シングルスB
優勝 和田 采夏 (大間々中)
準優勝 曹上樹里菜 (大間々東中)
3位 飯嶋 夏菜 (笠懸南中)
3位 平井 愛紗 (大間々東中)

市民が主役の 卓球大会

第19回みどり市民卓球大

会が10月13日㈪に桐生大学グリーンアリーナで開催されました。出場者は小学生から大人までの186人。男子シングルスA決勝では、小学生と大人の対戦。女子シングルスAも上位2人は小学生です。

みどり市卓球協会主催のこの大会は、子どもから大人まで同じステージに立ち、熱き戦いが繰り広げられる市民交流の場となつていま

す。試合の合間、蛭間則彦先生 (笠懸南中) によるミニ

卓球教室が自然とでき、中学生を中心に和が広がりとても微笑ましい光景でした。12月14日㈰にはみどり市オーブン卓球大会（団体戦）が開催されます。「近郊の選手もたくさん参加してくれる嬉しくて」と役員が話していました。



▲即席の卓球教室開催

岩宿の里で 脱穀体験

秋が深まる10月25日(土)、岩宿の里公園で「岩宿の里米っこクラブ」による脱穀体験が行われました。子どもたちは昔ながらの道具（千歯こきや足踏み式脱穀機）を使い、稻から粉を外す作業に挑戦します。

最初はぎこちななかつた手風の力で粉殻を分ける「唐算」の仕組みにも興味を示し、昔の人の知恵に感動しました。



▲脱穀にチャレンジ

防災を考える ⑤9 自主防災組織

自主防災組織とは、地域の住民が自主的に防災活動を行う組織です。日常の活動として、防災知識の普及や啓発、防災訓練、防災安全点検、防災資機材の備蓄や点検などを取り組みます。



地域の特性を理解している住民で構成された組織だからこそ、実情に合った防災活動を行えます。みどり市では令和7年度に34団体、32の全ての行政区に自主防災組織が設置されました。

音色が結ぶ 和と世界

みどりの音楽実行委員会（天野ゆかり代表）と童謡ふるさと館共催の『音楽と美の饗宴・秋の祭典』が10月12日(日)に童謡ふるさと館で開催されました。このイベントは「音楽を聴きながら着物を着てランウェイしよう」というものです。

前半は桐生大学附属中学



▲はいチーズ

校の第一部の皆さん、笠原道宏さんの篠笛演奏から始まりました。篠笛の会「蘭」の関根達行さんと金子ふみ

さんとの演奏では、着物ランウェイに男女合わせて14人が参加しました。

前半の締めくくりでは、ゲストの永島紀子さんが日本舞踊「新舞踊 雄氣の人 渋沢栄一」を舞いました。

後半は「世界から見るアジア・ジャパン」がテーマ。ゲストのケーナ奏者ハイメ・グラマルさんが南米の曲を披露。とても軽快で会場中が一気に明るく楽しい雰囲気に包まれました。

国際的なビューティーコンテストに出場した高野富由美さんは、その際に着用した衣装を披露。コンテストの映像と娘の喜美歌さんが作曲したピアノ演奏に合わせ、喜美歌さんとご主人のメッセージが流れました。

がりました。

参加者の飯沼清和さん（高崎市在住）は「和服を着る機会はなかなかないのでも、和服を着て参加させていただいて良かったです」と言つていました。来場者からは「世界から見えたかった」との声が聞こえきました。

代表の天野さんは「来年に向けて今から準備をし、他にないもつともっと楽しいイベントにしたい」と意気込んでいました。

自由に表現 パソコン写真展

笠懸公民館ふるさとギャラリーで10月15日㈬から21日㈫まで、パソコン愛好会・PCCさくら・PCC西鹿田の3サークルによる「第17回パソコンで作る写真展」が開催されました。

ひ孫との写真、旅行の景色、季節の花々の写真を額縁にレイアウトしたものや、バーナーにしたり、トートバッグにお気に入りの写真をプリントアウトしたものなど、さまざまな作品が目を楽しませていました。新しいことにチャレンジし、さらなるスキルアップ楽しみですね。



▲出展者のみなさん

笠懸公民館 SNS 紹介



Instagram



@KASAKAKEKOUNINKAN



YouTube



お手持ちのスマホでご覧ください!!



走る喜びを感じる 草木湖マラソン

第46回草木湖マラソン（みどり市・草木湖マラソン実行委員会主催）が10月19日㈰に開催され、参加者620人は紅葉にはまだ早い山道を駆け抜けました。ゲストランナーにはザスパ群馬の細貝萌社長とアンバサダー清水慶記さん、恒例のポリスランナーも走りました。性もいて、きついコースを元気良く走っていました。参加者は「今年はレベルが高い」と話していました。



▲鳥山線（小塙～滝間）

鳥山線は東北本線の宝積寺駅が起点となります。車両の運用は宇都宮駅が発着となっています。宇都宮駅から宝積寺駅まで東北本線上を走り、宝積寺駅から分岐して東へと向かいます。平坦な田園地帯を走り何の変哲もない路線です。駅は7駅あり全て無人駅です。（駅というより停留場に近い）交換設備のあるのは大金駅のみです。

20.

投稿

JR鳥山線 列車にゆられて(7)

野利 哲

井田駅からは山懐に入ります。そして、小塙駅からが素敵ですね。田舎という言葉がピッタリです。築堤を駆け上がりトンネルを抜けると滝駅です。この周辺は鉄道写真のビューポイントで、以前多くのカメラマンがいたのを見かけました。そして龍門の滝越に見る鉄道写真は映えるものですね。終点の鳥山駅は無人駅で、ここに見慣れない設備がありました。鳥山線の車両は蓄電池で走る電車です。EVE-E301系（直流通）といい一般型直通用蓄電池駆動電車と呼び、愛称はACCUMです。停車時間の間合いに蓄電池に充電をし、次の走行に備えています。

鳥山にはユネスコ無形文化遺産「鳥山の山あげ行事」や和紙が歴史の中に息づいています。そして、鳥山城址も捨てがたいですよ、何度も攻略しています。

4kmを35～40分で走り、仁井田駅からは山懐に入ります。そして、小塙駅からが素敵ですね。田舎と

家がポツリポツリの車窓と

なります。そして、小塙駅からが素敵ですね。田舎と

家がポツリポツリの車窓と

上毛かるたゆ

御朱印レディー

ゆかりは古し貴前神社

この札は、貴前神社の歴史の古さや「上野国一宮」として祀られた思いが、長く受け継がれていくことを願っています。

今から1500年前に創建され、神話に出てくる経津主神が機織りの神と共に祀られています。



▲貴前神社の御主印

「ぬきさき」といわれる特な造りで、本殿・拝殿・楼門は1950年(昭和25年)に国の指定重要文化財になりました。また、奉納されている鏡のうち3面も国の重要文化財に指定されています。

コラム豆電球 『パイナップルで口の中が痛くなるのは?』



人間の体はタンパク質でできているので、舌や口の中の表面はプロメリンによつて破壊され、口の中が痛いと感じるわけだ。

パイナップルを食べ過ぎてしまつた時、舌や口の中が痛くなることがある。不思議なのは、缶詰ではこの症状がない。これはいつたいなぜなのだろうか。

実は、生のパイナップルにはプロメリンという、分解酵素が含まれている。

パイナップルを食べ過ぎてしまつた時、舌や口の中が痛くなるようだ。ただし、プロメリンは熱に弱く、60℃ほどで分解されてしまう。そのため、加熱殺菌されている缶詰では、口の中が痛くはならない。

口の中では悪さをする



しかも、このプロメリンは熟せば熟すほど増加するので、甘いパイナップルを食べ過ぎたときほど舌や口の中が痛くなるようだ。

口メリンだが、捻挫や関節炎など、炎症の症状を改善したり、腫れや痛みを抑えたり、感染症を防ぐという働きがあるようだ。また、消化を助け、腸内の腐敗物を分解する作用もある。

タンパク質を分解する働きを利用して、お肉を調理前にパイナップルと一緒に漬け込めば、お肉が柔らかくなり、消化もよくなる。

湖面彩る鏡写しの鳶もみぢ
新嘗祭五穀豊穣地の恵み
すきま風婆の声する広き部屋
晩秋や猫の帰りを待ちわびる
炭の香や妣のぬくもり忘られぬ
足止める山の臭ひの茸かご
晩秋やもの悲しさが胸を刺す
柿どろぼう猿の親子の出没す
波荒く太平洋の秋探し
空見上げ終わりの見えぬ落ち葉かき
犬小屋に厚手の毛布敷く日和
秋耕や夫の手を借る一日かな
渡り鳥見上げる吾れと子ら四人
血圧の高めの患者冬の院
うす紅葉ゆらぐ山峡海の宿
遊歩道湖畔の落葉風に舞ふ
どんぐりの彈けてこぼる集会所
古き帯片付けながら秋の夜
溪流の釣り場に独り鹿の声
障子はる夫と住むには広すぎる
新米を研ぐ水量少し控えめに
紅葉鮒色とりどりに寺の池
青みかん酸っぱそうだが買ってみる
むかご飯母に供へる夕の膳
拍子木の音とぶ先の大熊手
身にしむや亡夫の夢を久に見る
リホームの屋根が仕上がり冬立ちぬ
つるし柿隣でもらふ五つ六つ
藪蘭のこぼれて方丈歩を止まる
玄関前せがれが洗ふ古障子
山里に残る柿の実取りさわぐ
ふる里の山を語りて葺飯
師の句碑の台座にいろむ草紅葉

四季の会 十一月句会



金字	小字	韓字	腰新	徳小字	糸榎宇	前高糸井	横倉	佐藤由	細川櫻本	竹中村	霜中村	中原江	牛房江原	高橋光
野林	野	塚羅	田林	井沢	野原	野井	高野	由美香	細川	宇野	富喜女	隆鬼祐月	敏秋草秋	榮津大樹
百由	昇光	夕狐	初春	順春	紫蘭	光梅	春蝶	千由	和椿	桂桂	麗華	純佳	秋秋	津
月大笑子	勘海	子一音	蘭	雪	蘭	雅	香	由	椿	桂	華	佳	秋	津

かさかけ どうぶつ家族②

小太郎くん(フ区)

10年前、小太郎(以下コタ)くんは生後すぐに捨てられていきましたが、幸運にも優しいお父さんに引き取られました。

お家はお店を営んでいて、来客があると、愛想よく尻尾を振って接客するのが人懐っこいコタくんの仕事でした。お父さんは看板犬コタくんの仕事ぶりをいつも褒めてくれ、お父さんといつしょに働くことがコタくんの生き甲斐でした。



▲コタくん

お父さんに亡くなつたお父さんは、いつも傍を離れません。犬生も山あり谷あり、コタくんは今とても幸せです。

しかし、楽しい日々は急に終わりを迎えます。

コタくんが5歳の時、大

好きなお父さんが亡くなつてしまつたのです。

お店も閉店すると、コタくんは元気がなくなり、どんどん痩せていきます。

そんな姿を見かね、結婚して家を出ていた娘(ママ)さんが引き取ってくれました。パパさんも快く迎えてくれ、新しいお家で元気になったコタくんに新しい家族が増えます。

ママさんが長男(3歳)、次男(1歳)を出産すると、弟たちのお世話(?)がコタくんの新しい生き甲斐になります。とくに下の子は

笠懸短歌サークル

十月例会より



湯あみしつつ話題になるは新施設の湯銭の事やら通ふ道やら

雨の中傘さし唄ふ「ブギウギ」にひまはりうつむき涙で拍手か

久保田茂子
上村 征子

関口 定夫

坪ほどの地を占めて咲く彼岸花今を盛りと葉草も隠し
息子来て大の字になるひとときに今はあらざる実家を思ふ

平山 勇



QRコード

ちょっと一息



山登りの帰り、かねてから立ち寄りたいと思つていた長野県長和町の「黒耀石体験ミュージアム」に足を運んだ。標高1500m付近にある和



▲星くそ館(長野県長和町)

田峰は黒耀石の一大産地としてその名を誇つている。黒耀石とは火山岩の一つで、溶岩が急速に冷やされた天然のガラス質の鉱物。その採掘地がミュージアムから徒歩30分ほどの山の中腹にあつた。採掘の様子が、「星くそ館」と名付けられた黒耀石鉱山展示室のプロジェクションマッピングで映像化されていた。「星くそ」とは縄文人が生きるために求め続けた「黒耀石」の別名というらしい。なお、縄文人が黒耀石を探掘したという窪地が山中には多数あり、登山とは違ったロマンを感じた。

(余)